

多摩平の森地区 A 街区 公共公益施設等整備計画検討委員会報告書

平成 24 年 3 月 29 日

多摩平の森地区 A 街区 公共公益施設等整備計画検討委員会

平成 24 年 3 月 29 日

日野市長 馬場 弘融 様

多摩平の森地区 A 街区
公共公益施設等整備計画検討委員会
会 長 大 木 茂

多摩平の森地区 A 街区 公共公益施設等整備計画検討委員会報告書

独立行政法人都市再生機構と日野市との「多摩平団地建替事業整備敷地における総合的なまちづくりに関する基本協定」（平成 20 年 12 月）で高齢福祉施設の誘致が位置付けられている多摩平の森地区 A 街区において、三世代が安心して生活できる居住空間及び公共公益施設を誘導するため、多摩平の森地区 A 街区 公共公益施設等整備計画検討委員会設置要綱第 2 条に基づき、検討したことについて下記のとおり報告いたします。

記

1. 検討内容について

「多摩平の森地区 A 街区公共公益施設整備イメージ（案）」に基づき構想案をまとめるため、以下について検討・確認を行いました。（別添要点録参照）

<検討・確認事項>

- ①多摩平の森（旧多摩平団地）の経緯、現状について
- ②分野別各種団体の意向調査
- ③イメージ案に対する需要の有無
- ④先行事例について
- ⑤事業者ヒアリング

<委員会開催日>

[第 1 回] 平成 23 年 10 月 14 日（月）

- ・委嘱状交付 ・市長挨拶 ・委員自己紹介 ・会長、副会長の選出
- ・会議の目的及び経緯について ・意見交換

[第 2 回] 平成 23 年 11 月 24 日（木）

- ・第 1 回要点録について ・施設内容について ・意見交換

【第3回】平成23年12月20日（火）

・第2回要点録について ・事業者ヒアリングについて ・意見交換

【第4回】平成24年 2月27日（月）

・第3回要点録について ・最終構想案について ・意見交換

【第5回】平成24年 3月29日（木）

・市長挨拶 ・第4回要点録について ・構想案について ・今後について

2. 提案のコンセプトについて（委員会意見）

委員会が出された主な意見は以下の通りです。

①地域包括ケアシステムを構築する。

- ・医療と福祉の連携（診療報酬同時改定）
- ・訪問介護、看護の必要性（医療ニーズが高い利用者が在宅に増える）
- ・亜急性期の受皿の必要性（退院から自宅までの中間施設）
- ・高齢者一人ひとりが自身の状況に応じた住まいで、自分らしく安心して生活できる環境づくり

②子どもが楽しく遊び、お年寄りがそれを支えていく、地域でお年寄りの面倒を見る三世代が一緒に住めるまちを目指す。

③事業者としては医療法人を中心として社会福祉法人及びデベロッパーなどを想定。

→一括施行より分割施行の方が実施可能性が高い

④健常者及び介護予防のため「健康増進施設」が必要。（用途変更が必要となる場合あり）

⑤市立病院との連携が重要。

（市立病院機能向上基本計画との整合性を図りつつ、急性期と亜急性期の役割分担）

⑥生涯学習・地域交流を担う施設として、日野社会教育センターを街区内に配置。

3. 構 想 案 について

以下の内容を基本的な考え方として、構想案をまとめました。

- ①委員会の提案内容及び日野市における各種計画との整合を図る。
- ②実現可能性に配慮し誘導施設を選別。
- ③日野市における地域包括ケアシステムのモデル事業として位置付け
- ④事業者は医療法人・社会福祉法人・民間デベロッパー等を想定
- ⑤独立行政法人都市再生機構に対し、市の構想について協力のお願いをさせていただく
(URの協力があるのみ本構想案の実現性がある)
→独立行政法人都市再生機構による事前ヒアリング及び公募の実施

4. 委員名簿 (敬称略)

委員長 大木 茂

副委員長 笹原 武志

市民委員 岩田 利夫、佐藤 光弘、森久保 雅道、斎藤 馨、水越 正司、窪田 洋
滝瀬 仁久、中澤 洋、吉富 正敏

UR 三浦 英幸

行政委員 大坪 冬彦、川久保 紀子、高田 明彦 (～平成24年1月31日)、増子 和男
小山 光雄、荻原 弘次、大島 康二 (平成24年2月1日～)

5. 添付資料

- ①多摩平の森地区 A 街区 公共公益施設整備等構想 (案)
- ②第 1 回から5回までの委員会要点録

以上